

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

佐賀産業保健総合支援センター「かささぎ」メールマガジン

第153号 2020年（令和2年）11月24日

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<目次>

1. 高年齢労働者の転倒と腰痛リスク及びその対策研修会のご案内
2. 研修会のご案内  
産業医研修会日程・12月の産業保健研修会ピックアップ
3. 産業保健関係情報・統計情報等（厚生労働省）
4. 日本産業保健法学会に関するご案内
5. 機構からのお知らせ  
労災疾病等医学研究普及サイトのご案内
6. 「治療と仕事の両立支援」定期出張相談窓口のご案内
7. 佐賀県精神保健福祉センターから「働く世代のこころのケア研修会」のご案内  
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応した心のケア

- 
1. 高年齢労働者の転倒と腰痛リスク及びその対策研修会のご案内
- 

当センターは、佐賀労働局及び佐賀県健康福祉部健康増進課と共催で「高年齢労働者の転倒と腰痛リスク及びその対策研修会」を実施します。

日時：令和3年1月15日（金）18：30～20：00

場所：佐賀県立生涯学習センター「アバンセ」4階 第1研修室  
（佐賀市天神3-2-11 どんどんの森内）

定員：50名（※参加費用は無料ですが、事前申し込みが必要です。）

内容：

- （1）行政の動向について（10分）

講師：厚生労働省 佐賀労働局 労働基準部 健康安全課担当  
佐賀県 健康福祉部 健康増進課担当

- （2）講演（80分）

「高年齢労働者の転倒と腰痛リスク及びその対策」  
～転倒・腰痛予防！実演「いきいき健康体操」～

講師：松平浩 先生

プロフィール 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター  
運動器疼痛メディカルリサーチ&マネジメント講座 特任教授

詳細、お申込みはこちらをご覧ください

[https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/1/detail=1/b\\_id=8/block8\\_limit=10/p8](https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/1/detail=1/b_id=8/block8_limit=10/p8)

## 2. 研修会のご案内

---

当機構では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、研修会を開催する際は、参加者の皆様に以下のことをお願いしています。ご理解、ご協力をお願いします。

- ・マスクを持参及び着用すること
- ・アルコール消毒液により手指消毒を行うこと
- ・受付時に体温測定を実施すること（非接触型体温計で検温します）
- ・近距離及び対面で話さないこと
- ・会場で食事をしないこと
- ・発熱や風邪の症状、基礎疾患のある方等は参加を見合わせていただくこと
- ・研修会等の前後において参加者同士の交流を極力控えること

※ 今後も新型コロナウイルスなどの感染症の感染拡大防止の場合等により本研修を延期又は中止する場合がありますので、必ず当センターホームページで開催の有無をご確認の上でご参加ください。

※ ソーシャルディスタンスを確保するため、定員数を削減しての開催となります。ご欠席される場合は、必ず事前に当センターまでご連絡願います。

### ★☆ 産業医研修会 ☆★

（注）開催時間が研修会によって異なります。必ずご確認ください。

研修会詳細 ⇒ <https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/21/>

お申込み ⇒ <https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/47/>

現在受付中の産業医研修会は、研修会番号【16】のみです。

研修会番号【16】【再掲】-----

日 時：12月2日（水） 18：30～20：30

会 場：武雄市文化会館 大集会室A（武雄市武雄町大字武雄 5538 番地1）

単 位：認定医：生涯研修 専門研修（3）健康管理 2単位

テーマ：「過重労働対策」

講 師：久留米大学医学部環境医学講座 教授 石竹達也 先生

定 員：先着 30名

### ★☆ 産業保健研修会 ★☆

（注）開催時間が研修会によって異なります。必ずご確認ください。

後期（10月～3月）産業保健研修会のリーフレット ⇒

<https://www.sagas.johas.go.jp/relays/download/22/152/109/972/?file=/files/libs/972/20200824154415306.pdf>

研修会詳細 ⇒ <https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/22/>

お申込み ⇒ <https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/48/>

研修会番号【37】 【38】 は定員に達したため、受付を終了しました。

研修会番号【36】 【NEW】 -----

日 時：12月3日（木） 14：00～15：30

会 場：高齢者ふれあい会館「りふれ」第3研修室（唐津市ニタ子3丁目155番地4）

テーマ：こころの健康を保つための早期発見と対応のポイント

（本人にできること・周囲にできること）

講 師：佐賀大学医学部看護学科 准教授 村久保雅孝 先生

研修会番号【39】 【NEW】 -----

日 時：12月16日（水） 14：00～16：00

会 場：鳥栖市民文化会館 第1研修室（鳥栖市宿町807-17）

テーマ：テレワーク時代のコミュニケーション

講 師：（一財）佐賀県産業医学協会 副所長 後藤英之 先生

研修会番号【40】 【NEW】 -----

日 時：12月25日（金） 14：00～15：30

会 場：高齢者ふれあい会館「りふれ」第3研修室（唐津市ニタ子3丁目155番地4）

テーマ：災害事例から学ぶ労働災害の実態

講 師：西村労働安全衛生コンサルタント事務所 所長 西村富夫 先生

---

### 3. 産業保健関係情報・統計情報等（厚生労働省）

---

#### ■マンガでわかる働く人の安全と健康（教育用教材）

厚生労働省は、働く人の安全と健康について、初めて学ぶ方向けに視聴覚教材（マンガ教材）を作成しました。外国人労働者等に対して適切な安全衛生教育が実施されるよう、11言語に対応し、8業種と業種共通の教材が用意されています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_13668.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_13668.html)

#### ■職場のハラスメント対策シンポジウム（オンライン）の開催について

厚生労働省は、12月を「職場のハラスメント撲滅月間」と定め、広報・啓発活動の一環として、「職場のハラスメント対策シンポジウム」をオンラインで開催します。

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/symposium>

ハラスメント対策パンフレット・リーフレット

[https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pawahara\\_gimu.pdf](https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pawahara_gimu.pdf)

[https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pawahara\\_kyoka\\_0601.pdf](https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pawahara_kyoka_0601.pdf)

パワーハラスメント導入マニュアル（第4版）

[https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pwhr2019\\_manual.pdf](https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/pdf/pwhr2019_manual.pdf)

---

#### 4. 日本産業保健法学会に関するご案内

---

産業保健に関する問題の未然防止と適正解決を図るため「日本産業保健法学会」が発足しました。

いま産業保健の現場を悩ませているのは、主にメンタルヘルス不調＋生活習慣病などの働き方・生き方に深く関わる課題です。こうした課題の解決は、個々の専門分野のみでは難しく、現場、個人と組織を見据えた学際的な対応が求められます。そして産業保健分野では、1) 法が領域をリードしている（法が産業保健業務の標準を提供している）こと、2) 法的紛争が起きやすいことから、「法」が重要な意味を持ちます。

しかし、ただ「法」に使われていては、現場問題の解決は果たされません。「法」の専門性を高め、積極的に使う技術と発想を磨く必要があります。更には、「法」の創造まで歩みを進め、納得いく職業生活を送る人々を1人でも増やすことが、この学会の取組の最終目的です。

<https://jaohl.jp/>

<https://jaohl.jp/wapp/wp-content/uploads/2020/10/ninteishikaku.pdf>

---

#### 5. 機構からのお知らせ

---

##### ■労災疾病等医学研究普及サイトのご案内

##### ●「令和2年度両立支援コーディネーター基礎研修」について

「治療と仕事の両立」とは、病気を抱えながらも働く意欲・能力のある労働者が、適切な治療を受けながら生き生きと就労を続けられることです。

そのためには、働く人々の治療と仕事の両立に向け、支援対象者（患者＝労働者）、主治医、会社・産業医などのコミュニケーションが円滑に行われるよう支援する「両立支援コーディネーター」が必要であり、機構では、両立支援コーディネーターを養成するための研修事業を行っています。

平成27年度から両立支援コーディネーター基礎研修を開催しており、令和元年度までに全国で51回開催し、令和元年度末までに4,129人のコーディネーターを養成してきました。これは、政府が決定した「働き方改革実行計画」における“2020年度までに両立支援コ

ーディネーター 2,000 人養成”の目標の2倍以上となります。

令和2年度は、これまでに研修を開催していなかったすべての都道府県において開催する予定としておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、広範な地域から受講者や講師が参集する集合形式での開催を見送り、オンライン（Web）形式に変更しました。オンライン研修は、事前に動画配信研修（10日程度の期間中において任意の時間で視聴可）を受講した後、特定の「WEBライブ講習」開催日に、リアルタイムでの研修（演習を含む。）を受講する形式となっています。

今年度予定しているオンライン研修は、10月23日（金）をもって全5回の募集が終了いたしました。今後開催が決まりましたら、労災疾病等医学研究普及サイト、労働者健康安全機構ホームページで告知してまいります。

■両立支援コーディネーター基礎研修に関することはこちら

<https://www.research.johas.go.jp/ryoritsucoo/>

■令和2年度両立支援コーディネーター基礎研修開催日程はこちら

<https://www.johas.go.jp/tabid/1830/Default.aspx>

#### ●「メンタルヘルス（平成30年度開始研究）」について

うつ病等の精神疾患は、抑うつ気分が改善した後も、認知機能（記憶、作業記憶、注意、処理速度、遂行機能等）が十分に回復するまでに時間を要することがあります。そのことが職場復帰した精神疾患の罹患者が、職場で十分なパフォーマンスを発揮できない要因になっているのではないかとされています。

また、精神疾患の診断をなされていない労働者の中にも、ストレスや加齢による認知機能障害を抱えている方がいます。

平成30年7月から開始した本研究は、精神疾患の有無に関わらず、労働者の認知機能を検査し、認知機能が労働生産性に影響を与えているのか検討を行います。そして双方に関連があると分かった場合は、希望者に認知機能回復のためのトレーニングを行い、認知機能の改善及び労働生産性の向上に繋がるのかを検証します。

さらに、労働者一人ひとりの特性に合わせたサポートを行うことで、職場のメンタルヘルス対策はもとより、よりよい社会生活への適応やQOL（生活の質）に繋げていくことを目的としています。

精神科医が臨床で得た知見について、産業医と共同することにより、産業保健の予防領域へ応用の可能性を検討していくという点は、本研究の特色と言えます。

令和2年度は、企業に勤務する労働者である研究協力者について、労働生産性やQOLに係る半年毎のフォローアップ評価を継続するとともに、希望者に実施した認知トレーニングの効果検証を行っています。

本研究の詳細については、「労災疾病等医学研究普及サイト」をご覧ください。

<https://www.research.johas.go.jp/mental2018/index.html>

---

## 6. 「治療と仕事の両立支援」定期出張相談窓口のご案内

---

<https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/63/>

11月から唐津赤十字病院の出張相談窓口が再開しております。今後も新型コロナウイルス感染症感染拡大状況によって変更が生じる場合もございます。最新の開設状況は当センターホームページでご確認ください。

### 【12月定期出張相談窓口】

- \* 佐賀大学医学部附属病院 18日（金）11：00～14：00（毎月第3金曜日）
- \* 佐賀県医療センター好生館 15日（火）11：00～14：00（毎月第3火曜日）
- \* 唐津赤十字病院 9日（水）11：30～14：30（毎月第2水曜日）
- \* 嬉野医療センター 10日（木）11：00～14：00（毎月第2木曜日）

---

## 7. 佐賀県精神保健福祉センターから「働く世代のこころのケア研修会」のご案内

---

佐賀県精神保健福祉センターは、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対応した心のケア」と題し、働く世代のこころのケア研修会を開催します。

詳細、お申込みはこちら

[https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/1/detail=1/b\\_id=7/block7\\_limit=10/p7=1#block7-1036](https://www.sagas.johas.go.jp/publics/index/1/detail=1/b_id=7/block7_limit=10/p7=1#block7-1036)

=====

佐賀産業保健総合支援センターでは、産業医や事業場の労務管理者等の方が産業保健活動を実践する上での様々な問題に関するご相談・ご質問を窓口（予約面談）・電話・Eメール等で受付・対応しています。産業医学・労働衛生工学等各専門分野の相談員等が対応し、問題解決に向けた助言をさせていただきます。

ご利用は無料ですので、どうぞお気軽にご利用ください。

### 【担当分野：相談例】

- 産業医学：健康診断の事後措置、職業性疾病の予防対策、職場巡視の方法
- 労働衛生工学：作業環境の維持管理と改善の方法、測定機器の扱い方
- メンタルヘルス：職場におけるメンタルヘルスの進め方
- 労働衛生関係法令：労働安全衛生法など関係諸法令の解釈
- カウンセリング：職場における指導・相談の進め方
- 保健指導：勤務形態や生活習慣病に配慮した生活指導の仕方

●治療と仕事の両立支援：医療機関と連携した両立のための職場環境の整備等

★メルマガ変更・配信中止のご通知は、「メルマガメールアドレス変更」または「メルマガ配信中止」と件名にご記載の上、こちら（ [sanpo41-8@sagas.johas.go.jp](mailto:sanpo41-8@sagas.johas.go.jp) ）まで。

【記入例】 件名：メールアドレス変更希望

旧アドレス[ ]

新アドレス[ ]

◇∞∞◇

独立行政法人 労働者健康安全機構 佐賀産業保健総合支援センター

〒840-0816 佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル4階

T E L 0952-41-1888 F A X 0952-41-1887

●ホームページ <https://www.sagas.johas.go.jp/>

●Eメール [sanpo41-8@sagas.johas.go.jp](mailto:sanpo41-8@sagas.johas.go.jp)

◇∞∞◇